

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 9日

(あて先)
さいたま市長 殿

提出者
住 所 埼玉県さいたま市北区吉野町1-405-1

氏 名 (株)北川鉄工所 東京工場長 小寺 利生

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 048-663-4411

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 北川鉄工所 東京工場
事業場の所在地	埼玉県さいたま市北区吉野町1-405-1
計画期間	令和5年4月1日～6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	鉄鋼業
②事業の規模	83億円
③従業員数	170名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	廃プラスチック類 → 焼却 → 最終処分場で管理型埋立 → 破碎 → 最終処分場で安定型埋立 木屑 → 破碎 → チップとして再生利用 鉾さい → 破碎 → セメントの原材料 → 焼却 → 再生砂 廃油 → 油水分離 → 再生重油 汚泥 → 焼却 → セメントの材料、こつ材

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
<pre>graph TD; A[工場長] --- B[鑄造課 課長]; A --- C[加工課 課長]; A --- D[生産技術課 課長]; A --- E[品質管理課 課長]; A --- F[設備管理課 課長]; A --- G[総務課・調達課 課長];</pre>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1に記載	別紙1に記載
	排出量	別紙1に記載 t	別紙1に記載 t
	(これまでに実施した取組) 別紙1に記載		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1に記載	別紙1に記載
	排出量	別紙1に記載 t	別紙1に記載 t
	(今後実施する予定の取組) 別紙1に記載		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 可燃物（ダンボール、廃プラ） 不燃物（ビニール、廃プラ）に分別		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状を維持していく		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
(これまでに実施した取組) 特になし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
(今後実施する予定の取組) 特になし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2に記載	
	全処理委託量	_____ t	_____ t
	優良認定処理業者への処理委託量	_____ t	_____ t
	再生利用業者への処理委託量	_____ t	_____ t
	認定熱回収業者への処理委託量	_____ t	_____ t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組) 特になし		

② 計画	【目標】 仕事量次第だが、前年並みに抑制したい。		
	産業廃棄物の種類	別紙3に記載	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 処理業者の現地訪問を行い、廃棄物の処理状況を確認する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 令和4年度 実績値 単位 (t)

① 現状

【前年度(令和4年度 実績値 t)】					
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	鋳さい	木屑	廃油	汚泥
排出量	67	4,043	33	115	13
(これまでに実施した取り組み) 引き続き廃棄物の中でリサイクル可能なものを選別し、産廃物を減らした。					

②計画

【目標】					
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	鋳さい	木屑	廃油	汚泥
排出量	64	3,840	31	109	13
(これまでに実施した取り組み) リサイクル可能な物を更に増やすようにして産廃の減少に努める。 仕事量維持予定だが、排出量の昨年減に抑える。					

別紙2 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 令和4年度 実績値 単位 (t)

産業廃棄物の種類	排出量	全処理委託量	全処理委託量のうち優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う処理業者への処理委託量	中間処理方法	最終処理方法
廃プラスチック類	67	67	0	67	0	0	焼却 破砕	焼却 破砕
鋳さい	4,043	4,043	0	4,043	0	0	破砕	————
木屑	33	33	0	33	0	0	破砕	————
廃油	115	115	0	115	0	0	油水分離	————
汚泥	13	13	0	13	0	0	焼却	————

別紙3 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 令和5年度 計画 単位 (t)

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	鋳さい	木屑	廃油	汚泥
全処理委託量	64	3,840	31	109	13
優良認定業者への処理委託量	0	0	0	0	0
再生利用業者への処理委託量	64	3,840	31	109	13
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0